



112号  
2018年11月・12月



あした あした きょう きょう  
明日は明日、今日は今日

Tomorrow is tomorrow, today is today

## 日本語クイズ



2018年9月1日に日本語会話協会はゴールパークのRKMのシヴァナンダ ホールで日本語クイズコンテストを行った。ジュニアグループの司会者はルマ チャタジー先生で、シニアのグループの司会者はプナム ナンダデ先生だった。多くの語学学校の学生がコンテストに興味深く参加した。在コルカタ日本総領事館の茅賀政幸総領事が出席して下さり学生たちの入勝者と参加者に賞を手渡して下さいました。副領事の加藤真奈美さんも出席された。

### ジュニアグループの優勝者

- 1位：アヴィク セングプタ (RKIC)  
マイナク サハ (IILC)
- 2位：アビシエク チャコラボルティ (Sakura)  
スネハシシュ ムカルジー (RMIC)
- 3位：アビシエク ロエ (Okakura)  
モウピヤ ロエ シング (IJLSS)

### シニアグループ

- 1位：アドリジャ ナス (IILC)  
2位：アグニシュワル チョウドゥリ (IILC)  
3位：ジョツナ ダス (RMIC)

## 琴と三味線



2018年9月25日ラビンドラ オカクラ  
パワンで金子純恵さんのソロコンサート



## ジャパン ウツァヴ と コスプレイ コンテスト

2018年11月11日在コルカタ日本総領事館はコルカタの「ホテル ヒンドスタン インターナショナル」でこのイベントを行う。

詳細: <https://bit.ly/2pp5Ca0>



ニガム 和子先生の生け花と  
長浜浩子先生の書道もその一つ

## 藤原智恵子様とのインタビュー

90歳代の元気な女性、誰でしょう。その人の名は藤原智恵子さん。

私達の最愛のニガム先生のお母様。娘さんを訪ねてコルカタに来られました。私達は先生のお宅で打ちとけたお話をしました。

Q 大阪の近くの神戸で生まれてそこの小学校に入学されましたね。

A はい、小学校を卒業して女学校に入りその後商業の専門学校へ行きました。

Q 大学へは行かれませんでしたか。

A 私が小学校の三年生の時父が亡くなり、母は私が自分で生活していけるようになって欲しいと思い、簿記を習うことを勧めました。

Q その専門学校をでて会社で働き始められましたね。

A はい、その頃は女性が会社で仕事をするというのはあまり多くなかった時代です。専門学校を卒業した時学校の推薦で大会社に就職することが出来ました。

Q すごいですね。その会社で簿記の仕事を五年間されましたね。

A はい、その頃はそろばんで計算して何でも手書きをしていました。

Q 五年後退職されましたか。

A 実は私は主人とこの会社で知り合いその後主人は戦地に行きましたが終戦後無事に帰国してきて私達は結婚しました。その頃は会社の規則で夫婦が同じ職場で働くことが出来なかったのが私が退職して専業主婦になりました。

Q 漢詩がよく読めると聞きましたが今でも読めますか。

A 日本では国語の授業で漢詩を習います。

Q 舞台上で詩吟のコーラスもされましたね。

A はい、今でも詩吟は趣味ですがもう舞台



ニガム先生とお母様の藤原智恵子様

では歌うことはありません。

Q 民謡も習ったと伺いましたが・・・

A はい、若い頃主人の仕事の関係で北海道の函館に住んでいたことがあり江差追分を習いました。私は子供の頃、お琴も習い演奏会にも出ました。

Q 今でも民謡を歌われますか。

A 長い間習いましたがもう忘れてしまいました。でも聞くことは好きです。

Q コルカタに10回以上来られましたね。

A はい。1980年に孫息子が生まれた時、初めて来ました。

Q コルカタの人の印象はどうですか。

A 私が住んでいた神戸には外国人も住んでいてインド人も見かけたことがあります。それで外国人という気がしません。

でもこちらの人は顔をじろじろ見るのでそれは好きじゃありません。

それとここの歩道はとても歩きにくいです。

Q 趣味は？

A 歌を聞くことと園芸です。

Q 思い出深い経験は？

A 私が学生の頃は日本は第二次世界大戦の真っ只中で皆はお国のために奉仕活動をしなくては行けませんでした。それで私も神戸の近くにあった戦闘機を作っている工場へ行き簿記の仕事をしていました。専門学校の授業を受ける時間はあまりありませんでしたが卒業式だけはありました。

アローク バス

### 11月・12月のプログラム

- ◆ アカデミック セッション：  
講師クシュパーさん 2018年11月18日  
サラット サミティ で 3時
- ◆ 印日文化祭練習： 2018年12月から  
(ニガム先生・ルマ先生へ連絡を下さい)

## 第22回印日学生会議での経験



# 瓜子姫



はなしを きいた おしろの けらい  
は、あまんじゃくを かごからひきずり  
だしました。

「いたずらおにめ。くびを ちょんぎっ  
て やるぞ。」

「うわあ」

あまんじゃくは、うりこひめの きも  
のを すてて、にげだしました。

「ごめんよう、ごめによ。 もう し  
ない よう。」

ぴよん ぴよんと、はねるように して、  
やまへ にげて いきました。

おしまい

(スペース不足のせいでこの話は前の号では完  
成できなかった)

((日本の民話- 小学校対象)

日本の (1956 年) 初の人形アニメ「瓜子姫と天野勇」

YouTube で視聴：

<https://www.youtube.com/watch?v=eSDpSb7A-is>



例年ピクニックについての情報  
を NKK のウェブサイトで確  
認お願い致します

第 22 回目の IJSC は、日本側のメンバーのお  
かげで多くの新しいコンセプトを提案して頂  
いたので特別だった。ファッションショーや  
運動会 (スポーツイベント) が持続可能な開  
発目標と共に注目された。私はこの革新的な  
チームの一員となったことで特別に良かった。

日本側の少数のメンバーはベンガル語を話  
すことができ、コルカタの生活様式も良く知  
っているようにみえたのは驚きだった。彼ら  
の英語の流暢さは両国間のコミュニケーション  
をとるのに非常に有益であった。幸い私は  
去年 2017 年に 21 回目の IJSC で日本を訪れ  
たので、今年の日側のメンバーの多くを知  
っていた。

私にとって最も良かったのは 8 月 11 日にあ  
った運動会での屋内ゲームのボウリング、伝  
言ゲーム、そして日本の学校の子供たちがす  
るゲームを楽しんだ時だった。インド側も、  
17 日の学校訪問の後、日本側とのクリケット  
の試合を開催した。天気は非常に蒸し暑かっ  
たが、日本側はインドのメンバーとチームを  
作り、思いっきりクリケットのゲームを楽し  
んだ。NKK の会長のジャヤンタ クマール  
サハさんが準備して下さった村訪問につい  
ても言わなければならない。コルカタでの観光  
は 18 日に行われた。日本側が英国の建築物や  
歴史的な名所を見たいと言ったので、コルカ  
タの重要なランドマークである中央郵便局近  
くの歴史的な建物を見学することにした。最  
後の日の 19 日、NKK は閉会式のあと送別会  
を開き、日本側のメンバーの一人のために小  
さな誕生日のお祝いもした。

IJSC は、時間とともに徐々に成長する友好  
関係や文化的な絆を作るプラットフォームだ。  
したがって、IJSC に参加してわくわくする気  
持をもっと多くの人が体験することができれ  
ばいいと思う。

ジュレヤ ガース

日本語クロスワード  
(11月 - 12月)

1	2	3		4	
5				6	7
8			9		
10		11			
				13	
	14			15	

**ACROSS**

- 1) Business meeting
- 5) Area/region
- 6) Pond
- 8) Morning
- 9) Poet
- 12) Theology
- 14) Idea/plan
- 15) Song lyrics

**DOWN**

- 1) Confess/confide
- 2) Small
- 3) Autumn
- 4) Politics
- 7) Architect
- 9) Funds/capital
- 12) Private message
- 13) Painter

モハジュウェータ バス ムカルジー

(9月-10月)

日本語のクロスワードの答え

1 う	2 す	3 あ	4. か	る	5 い
6 け	い	し	き		わ
7 た	か		8 み	9 あ	い
ま		10 み	だ	し	
11 わ	12 く		13 す	も	14 う
15 る	い	ご		16 と	み

綴り換え-57

下記のボックスに言葉を元の状態に戻し、丸字をつないで答えを見つけましょう。



ことわざは何ですか

1. にくべち(Lipstick)

○ □ □ □ □ □

2. ぶつかんはく(Museum)

○ □ □ □ □ □ □ □

3. ざわざわ(Specially)

○ □ □ □ □ □

4. ししのい(Wild boar)

○ □ □ □ □ □

4. しゅしょうとも(Former Prime Minister)

○ □ □ □ □ □ □ □ □ □

シヨントウ デブナート

綴り換えの答え-56

- 1. まねきねこ
- 2. にゅういん
- 3. こうさてん
- 4. ばくだん

ね □ □ □ □ □ □ □ □

編集者：トヌスリ チャタルジー・アローク バス 翻訳者：トヌスリ チャタ

桜... 日本語会話協会の隔月のニュース レター